

『 エンシニタスでの一生の思い出 』

本渡中学校 3年 立山 桃香



私は、「自分の世界観を広げたい、知らない世界を見たり、新しい文化に触れたりしたい。」という思いでこの交流事業に参加しました。私が今持っている将来の夢は、簡単には叶えられそうにありません。しかし、これから先、努力をしてきっと叶えたいと思っています。そのためにも、今の自分には大きなチャレンジが必要だと感じていました。今回のホームステイは、私に新しいことにチャレンジすることの大切さや楽しさ、時には大変さを教えてくれたような気がします。たくさんの人に出会い、親切にさせていただき、とても楽しく、とても貴重な体験となりました。

自分の世界観を広げることができたと思います。

7月29日午前8時、初めてのアメリカへ胸をふくらませ、飛行機に乗りました。機内食や長時間のフライトなど初めての事がたくさんありました。飛行機ではあまり寝られずとても長かったです。

午前11時、ロサンゼルスに着きました。空港にはいろいろな国の人がありました。入国審査では、みんな緊張しながらも無事終わることができました。外に出た瞬間、クーラーのような冷たい風が吹きました。私は思わず「クーラーみたい。」と叫んでしまいました。みんなも同じ事を思ったのか、「涼しい」や「日本とはぜんぜん違う！」というような言葉が次々にでていました。

また、車道も右通行で車も左ハンドルで日本では見られない光景に胸が高まりました。

それから車でエンシニタス市へ向かいました。エンシニタス市へ向かっている途中でハンバーガーショップに行きました。私はハンバーガーとポテトSを頼みました。店員さんとのやりとりも難しかったです。何を言っているのか、何と言えばいいのかがわかりませんでした。みんなと協力しながら注文することができました。注文すると、Sサイズのコップを渡されました。Sサイズといっても日本のLサイズくらいありました。ドリンクはセルフでどこのお店も飲み放題だ

そうです。私は、日本もそうだといいのになぁと心の中で思いました。私はコーラを飲みました。日本のコーラより少し甘かったです。席でみんな話していると、ハンバーガーとポテトがきました。ハンバーガーやポテトもすごく大きく、みんなびっくりしていました。食べ終わった時には、とてもお腹がいっぱいになっていました。

昼ご飯を食べ終わって、少ししたらエンシニタスの市役所に着きました。バスから外を見るとホストファミリーのみんなが Welcome ボードをたくさんもって待っていました。それを見て、とても楽しみになりました。私のホストファミリーは、Momoka というボード持っていたのですぐわかりました。お父さんとお母さんと娘の Jill が迎えに来てくれていました。ホストファミリーの方へ行って “Hello. Nice to meet you. I’m Momoka.” と言うと、笑顔で迎え入れてくれました。市役所内での歓迎会では英語で何を言っているのか聞き取れず不安でいっぱいでした。でも、ホストファミリーがゆっくり笑顔で話しかけてくれたので、しだいに会話ができるようになり、すぐ仲良くなることができました。

ホストファミリーの家に向かっている時、私は話をしながら外を眺めていました。海や山などたくさんの自然がありました。また、たくさんの家が次々と並んでいました。それに、一つ一つの家が大きくて、びっくりしました。家に着くと部屋に案内してもらいました。そして、ホストマザーがいろいろと説明してくれました。荷物の整理をしていると、机に手紙とお菓子と雑誌を見つけました。私は親切だなぁと思いました。嬉しくなったのですぐにお礼を言いに行きました。

しばらくして、ホストマザーに何を食いたいかが聞かれました。私は “I want to eat steak.” と言いました。すると、「今日の夜ご飯はステーキだよ」と言われたので、嬉しかったです。私がインフォメーションカードに「お肉が好きです。」と書いていたので、準備してくださっていたのだと思います。その日の夜は、ステーキがメインで、ポテトやサラダもありました。ステーキ一人分はすごく大きかったです。一人分の量がとても多かったのですごくお腹がいっぱいになりました。

7月30日、午前9時。市役所にみんな集合して、街を少し歩きました。みんなとは、前日の夜の話でとても盛り上がりました。

まず、ハンセンサーフショップに行きました。水着や洋服などが売ってありました。そこで私たちは、帽子とリップとステッカーをもらいました。もらった帽子をかぶって、写真を撮りました。みんなから、「似合っているよ」と言われ、嬉しかったです。

次にスワミガーデンという所に行きました。そこには植物がたくさんあり、海がすぐ近くにあり池に鯉がいました。雰囲気は日本に似ているなと思いました。

その後、サンディエゴアカデミー高校に行きました。サンディエゴアカデミー高校はとても広くいろいろな分野の教室がありました。それから、移動して乗馬体験をしました。乗馬をした後に”Good job”と言われてとても嬉しかったです。

最後にコーヒーショップに行ってカフェラテとケーキを食べました。ブラウニーがとても美味しかったです。

私はそこでみんなと別れ、ホストファミリーとスーパーに行きました。スーパー自体も大きく、商品一つ一つもとても大きかったです。「シリアルを選んで！」と言われて、Jillのお姉さんのSydneyとシリアルの置いてある所に行きました。私はとても驚きました。なぜなら、シリアル一つ一つが大きくて、いろいろな種類のシリアルがたくさん置いてあったからです。日本では見たことのない光景でした。私とSydneyは、チョコとフルーツのシリアルを選びました。帰りの車では、Sydneyと洋楽の話で盛り上がりました。私が好きな歌手の音楽や、Sydneyが好きな音楽を聴きながら帰りました。Sydneyは、24歳でとても大人っぽく優しかったです。

7月31日、午前9時。市役所に集合して、列車でサンディエゴに行きました。ずっと海が続いていました。列車は二階もあり、多くの人が利用していました。切符を点検に来た駅員のおじさんは、とても陽気で明るい人でおもしろかったです。

サンディエゴ市内に着いてから、歩いて市内観光をしました。天草ではみられないようなとても大きなビルが並んでいました。それから、野球場に行きホットドックを食べ、野球観戦をしました。T-shirtをもらえたので、嬉しかったです。

8月1日、午前9時。市役所に集合して、バスで移動して、ハイキングをしました。草や木がたくさんありました。また、岩場もありました。そこから見えた景色は、水平線が遠くまで延びていてとてもきれいでした。

ハイキングを終え、昼ご飯を食べました。そして、私が楽しみにしていたものの一つでもあるサーフィンの時間がやってきました。みんな眠そうにしていたのに、「今から海に向かいます」と言われた瞬間、ハイテンションになり会話もはずみしました。ムーンライトビーチにはたくさんの方がいました。日本のビーチでは水着の上にT-shirtを着る人がほとんどなのに、T-shirtを着ている人はぜんぜんいませんでした。アメリカだなと思いました。サーフィンでは、手伝ってもらいながら立つことができ、Jillや他のみんなから、歓声をもらったのでとても嬉しかったです。

8月2日、午前9時。市役所に集合して、みんなでアウトレットモールに行きショッピングをしました。値段が安くて、驚きました。

昼からはカーレースをしました。初めは壁にぶつかってばかりだったけど、途

中からコツをつかむことができ、スピードもだせるようになってきました。運転している時はずっと笑っていました。楽しかったです。

夜はムーンライトビーチで BBQ をしました。ホットドックとハンバーガーがあり、ホットドックを食べました。その後は、アメリカ人、日本人混合でビーチバレーをしました。私たちが「さぁ、来い!」と言うと、アメリカ人も真似して「さぁこい」と言っていました。

また、アメリカ人対日本人でもやりました。気づいたらあたりも暗くなっていてキャンプファイヤーが始まりました。マシュマロを焼いていると、Momoka! と呼ばれました。マシュマロを持っていくと、クッキーとチョコでマシュマロをはさんだ“スモア”という物を食べさせてくれました。アメリカではとても親しまれているものだそうです。美味しかったです。

8月3日、午前中はホストファミリーと買い物に行ったりして、過ごしました。そして、図書館で行われていたジャパニーズフェスティバルに行きました。私は水色の甚平（じんべい）を着ていきました。すると、とても喜んでくれました。また、日本語を勉強している学生や、浴衣を着ている外国の方、日本の方などたくさんの方がいました。私はそこにいた、たくさんの人と一緒に折り紙を折りました。外国の方に鶴の折り方を教えました。“Thank you.”と言われ、嬉しかったです。

その日の夜は、お別れパーティーが行われました。プールサイドでありました。ジュースやチキン、デザートなどがありました。最後には、みんなと写真を撮りました。明日でもうお別れなんだなと実感がわいてきました。

8月4日、市役所に集合しました。ホストファミリーとの別れはとても寂しかったです。だけど、自分なりに感謝の気持ちを伝える事ができました。そして、全員で写真を撮り、ハグをしてわかれしました。別れのハグはなんだか温かく感じました。バスにのってからも、見えなくなるまで、お互い手を振り合っていました。市役所から離れると、ホストファミリーとの思い出が次々に頭に浮かんできました。

それから、バスでLAにむかいました。そして、HOLLYWOODにいきました。チャイニーズ・シアターというところには、たくさんのスターの手形がありました。また、人もたくさんいました。LA市内を観光して、ホテルに泊まりました。

最後の日は、ホームステイで楽しかったことや驚いたなことなどをみんなで話していました。天草のいろんな所から集まり、同じ時間を過ごし、六人でいろいろな体験ができた事、お互いに刺激を受けた事など、貴重な経験ができた事を大切にしていきたいです。

この研修がなければ、会うことができなかった仲間です。エンシニタスでの

素晴らしい体験だけではなく、そんな仲間と出会えたことにも、感謝しています。

最後に、ホームステイで感じた日本とアメリカの違いについてまとめました。

○大きさと量

建物や食べ物など全てが日本よりも大きかったです。また、3回の食事の量も日本と比べると、とても多かったです。

○気候

エンシニタス市は、空気が乾燥していて風が涼しく、私も少し肌寒いと感じるほどで、常にパーカーを着ていました。しかし、とても過ごしやすく、日本に帰って来てからはまたエンシニタス市に行きたいと何度も思いました。

○家での生活

日本ではあまり見られない暖炉がありました。また、外にはプールがありました。家での飲み物は主に水でした。日本の家では、お風呂とトイレは別にあります。お風呂とトイレが一緒でした。

○道

道路は天草と違い、とても大きかったです。また、フリーウェイという道があり、少し遠い所に出かける時はその道を利用していました。車は、日本の車をよく見かけました。なぜか少し嬉しい気持ちになりました。

日本との違いに気づくことで、お互いの良いところにも気づくことができました。文化の違いは、五日間過ごす上でとても実感することができました。

また、英語での会話は自分の思っている事をうまく表現することができないことがあり、自分の英語力の未熟さを知ることができました。「もっと単語や表現を知っていたら、もっと深く、色々なことを話すことができたのになあ。」と感じたこともありました。しかし、ジェスチャーをしたり、単語を調べたりしながら会話を続けることができ、自分の自信にもつながりました。今後、もっと英語を勉強し、またエンシニタスに行くことがあれば成長した姿を見せられるように頑張りたいです。

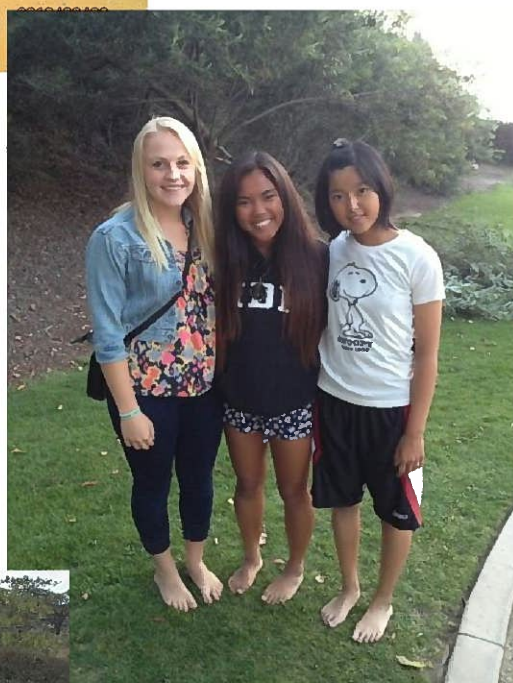
温かく私を迎え入れてくださったホストファミリーをはじめ、ホームステイに関わる、たくさんの方々に感謝の気持ちでいっぱいです。

このように楽しく、一生の思い出となる経験ができたのもたくさんの人の支えがあったからだと思います。改めて、今の自分はたくさんの人に支えられながら生活ができているのだということを感じることができました。

今回の事業を通して学んだ事、積極性や感謝の気持ちをこれからの生活に生かしていきたいです。また、アメリカでの経験や良さ・逆に日本の良さに気づいたことなど多くの人に伝えていきたいです。

今後は、自分自身の努力でさらに世界観を広げていきたいと思っています。そして、

これから、今回出会い、支えてくれた方々に恩返しができるよう、さらに多くのことにチャレンジして成長していきたいです。本当にありがとうございました。



『 姉妹都市交流を行って 』

有明中学校 3年 尾崎 星香



私は今回の姉妹都市交流で天草市代表としてアメリカに行ってきました。異国の文化をよく知ること、国境をこえたたくさんの人と関わりをもつこと。そして日本の文化を知ってもらうことを目的として行かせていただきました。

出発当日、大きなスーツケースを押しながら天草空港に向かいました。空港に入るのがとても緊張しました。ロビーで先生や市役所の方、両親としばらく話した後、ケーブルテレビの撮影がありました。本当にアメリカに行くんだなと実感しました。そして出発の時、心配そうに見守るみんなに

手を振り、飛行機へむかいました。

福岡空港にはすぐに着き、そのまま韓国・仁川空港へ。しばらくお店を見て回り、大きな飛行機に搭乗しました。飛行機の旅はとても長く、きつかったです。映画を見たり音楽を聞いたりして過ごすこと約 12 時間。アメリカ、ロサンゼルス空港に到着しました。みんなで「アメリカだー！」と歓喜の声をあげて騒ぎました。

そして、難関の入国手続き・・・様々な国の人がたくさんいて少し怖かったです。人ゴミの中に私達も並び、順番を待ちました。前が見えてくると、怖い顔をした警官の人がみんなに質問をしているのが見えました。だんだん不安が大きくなってきました。そして、とうとう私の番がきました。目的は何か、金はいくら持ってきたかなど聞かれ無事クリア。ほっとしました。

その後、空港を出てタクシーでエンシニタスまで行きました。途中、アメリカに着いて初めてのハンバーガーを食べました。聞いていた通り大きくて完食するのに一苦勞でした。しばらくしてガイドさんが「市役所に着きますよ」と言ったので窓の外に注目しました。すると市役所の前にたくさんの人だけが見えました。なんだろうと思い、見てみると私達研修生の名前が書いてあるカードを持った人たちがたくさんおられました。その人たちがみんなのホストファミリーだと気づきびっくりしました。こんなにも歓迎があつく、とてもうれしくなりました。

マイクさんという方からサングラスを1つずつもらいました。私のホストファミリーは、お父さんとお母さんと同じ年の女の子が一人でした。写真を撮ってもらい、すぐに打ち解けることができました。

その後、市役所に入り歓迎パーティーが行われました。大きな紙袋をひと袋ずつもらい、同時に天草からのおみやげも渡しました。市長さんから歓迎の言葉をいただき、それぞれのホストファミリーと話しました。私が海に行きたいと言ったのであの有名なビーチ、ムーンライトビーチに連れて行っていただきました。たくさんの写真を撮ってもらいました。

ホームステイ宅に行くとすぐにメキシコ料理店に行きました。店員さんの派手な制服にびっくりし、おしゃれだけど少し古風な店内にもびっくりし、とても楽しかったです。注文はホストファザーに任せて、くるのを待ちました。Tacos&Chiladasというのを食べました。中に入っていたチキンがおいしかったです。だけどメキシコ料理はあまりあいませんでした。ホストファミリーとの対面も終わり、とても安心し、とても楽しい一日でした。この辺はとても乾燥していて寒かったです。日本とは違うんだなと実感しました。

2日目、朝からホストマザーに市役所まで送ってもらい、2日目の活動にはいりました。まず最初は、歩いてサーフショップへ行きました。店員さんからキャップをいただきました。そのあとにスワミガーデンというところに行きました。ここは身を清める場所らしく、あまり騒いではいけないとのことでした。タクシーに乗り換え、地元の小学校に着きました。ここでは小学生のみんながサラダを作っていました。アメリカの小学校は日本とあまり変わらず6歳~12歳の子どもが通っているそうです。

その後、乗馬体験ということで2頭の馬がいるところへ行きました。ニンジンあげたり毛を整えたりしました。そして一人ずつ乗馬。最初は怖かったけれど後から揺れが楽しくなってきました。活動が終わった後、みんなでカフェに行きました。ホームステイ宅に帰ってすぐ、ビーチに連れて行ってもらいました。アメリカの海は水がとても冷たく寒かったです。なので、ウェットスーツを借りて入りました。ブギーボードというものにお腹をのせ、タイミングに合わせて波に乗る、ということをしました。これがとても楽しかったです。気に入ってしまい、けっこうな時間遊びました。アメリカでは、みんな学校や仕事などの活動のあとにビーチで泳ぐそうです。私はそれを聞いてきつくないのかなと思いました。日本では「海に行く」というのが一日の予定になることが多いと思うのでうらやましいなあと思いました。そのまま水着で家に帰り、外にあるお風呂（露天風呂？）にホストファミリーのガブリエラと一緒にいりました。そこで、お互いの学校のこと、日本の食事とアメリカの食事をくらべて思ったことなどのたくさんの事

を話しました。一生懸命、自分の使える英語をたくさんつけてきちんと会話することができました。

3 日目、この日は電車でサンディエゴへ行きました。シーポートビレッジというところを見て回りました。ミッドウェーと書いてある大きな船がありびっくりしました。この日のメインは野球観戦！パドレスというチームの試合を見ました。本物の球場や試合をみるのは初めてだったので、その盛り上がりっぷりにはびっくりしました。途中、看板に天草から来た人への歓迎の言葉が表示されとても嬉しかったです。帰りには少し古い街並みのところを通りました。オシャレで可愛かったです。

4 日目、この日は朝からハイキングに行きました。山を上り下りしてとてもきれいな景色を楽しみました。タクシーで移動し、マイクさんに連れて行ってもらった先には、大きな亀がいました。50年生きている亀で大きくてびっくりしました。

そして、お待ちかねのサーフィン！ここでは係の人がいてサーフィンを手伝っていただきました。何とか立てるように頑張り、最後の最後で立つことが出来ました。それぞれのホストファミリーの方々も嬉しそうに見守っていてくださり、とても楽しかったです。

夜、私のホストファミリーがサンディエゴの動物園に連れて行ってくれるということだったので出発しました。途中、サーフショップに立ち寄ると、左うでのない女の人がありました。ホストファミリーによると、サメに腕を食われてしまったそうです。それがドキュメンタリー実話の映画になっているそうで、私はこの目でその人を見れて嬉しかったです。

そして、サンディエゴへ。アメリカの高速道路が無料というのは本当でした。日本は高いけど、アメリカはいいなあと思いました。動物園に行く予定でしたが、私が途中で寝てしまったのでスイーツを買って帰ろうということになってしまいました。そのスイーツ店はとても高級で、私が来るところじゃない！と思いました。さすがエンシニタスのご家族・・・。

5 日目、この日はアウトレットモールにいきました。日本のアウトレットとさほど変わりはなく、たくさん SALE 品が並べてありました。店員さんと楽しく会話をしながら買い物をすることができました。少し英語力も伸びてたらいいなーと思います。その後移動し、K1 スピードレースをしにいきました。初めて行ったのでたくさんの大人の人に越され、とても怖かったです。でも、後から楽しくなってきました。良い思い出ができたのでよかったです。

夕方、研修生と先生と、そのホストファミリー全員が集まってバーベキューを行いました。タコスを食べたり、ハンバーガーを食べたり。そのあとにビーチバ

レーをしました。とても楽しかったです。ムーンライトビーチにある天草までの距離の看板をみることができました。夜遅くになるまでみんなと話したり、とても楽しい夜でした！

6 日目、最終日。私はホストファミリーと一緒にサンディエゴ動物園に行きました。ここはアメリカの中でも大きな動物園らしく、パンダを初めて見ました。また日本にはいないような初めて見る動物ばかりでした。とても面白くて楽しかったです！

しかし、とても広く歩くのがとても大変でした。家族のみんなにおみやげを買って、動物園をあとにしました。車の中で、ガブリエラから T シャツをもらいました。ちょっとびっくりしたけど嬉しかったです！それからさよなら夕食会に参加しました。プールがあり、好きに夕食をとって食べました。そのあと、サプライズとしていきなりバースデーソングを歌ってもらいました！プチケーキも用意されていて嬉しかったです！最後にみんなと写真をとって今日はおひらきでした。

7 日目、とうとうお別れの日。朝からビーチに行き、アンティークショップへ行き、一番のりで市役所に到着しました。次々にみんながやってきて、全員で写真を撮りました。別れの時は寂しかったけれど、とても楽しい思い出をくださったホストファミリーにとっても感謝しています。

エンシニタスから 2 時間、ロサンゼルスに向かいました。最初にチャイニーズシアターといってハリウッド俳優の手形などがあるところに行きました。ジョニーデップやたくさんの手形があり、すごい！と思いました。そのあと、ハリウッドの看板がある山を見に行きました。テレビでしか見たことがなかったので、本物を見ることができ嬉しかったです！

そして、お楽しみのユニバーサルスタジオでした。ここでは 6 時間ほど自由な時間をもらうことができました。シュレックやお化け屋敷、色々なアトラクションをまわりました。日本のユニバーサルスタジオと比較したらおみやげが日本の方がいっぱいあり、いいのかなあというところでした。でも楽しめたのでよかったです！夜になり、ロサンゼルスホテルに到着しました。ロビーはとてもきれいで、洋風だなーと思いました。でも、部屋にしてみると薄暗くて怖かったです。アメリカのホテルはとても侵入しやすいらしく、危ないとききました。でも、何もなくてよかったです。

次の日。朝ごはんを食べ、スーパーで買い物をしてからいよいよ空港へ。アメリカとのお別れの時がやってきました。集合時間まで時間があつたので友達と買い物をしました。しかし、集合時間になってもみんなが見当たらず、空港内を探し回るハメに。先生ともはぐれてしまい、大変なことになりました。しかし、無事に合流することができ、本当に良かったです。これも一つの経験となりました。

そして、またまた長い空の旅へ。帰りの飛行機はほとんど寝ていました。気付けば仁川空港でした。それから福岡行に乗り継ぎ、夜に福岡に着きました。あまりの日本の暑さにみんな耐えきれませんでした。ホテルにつくなりすぐコンビニに行き、おにぎりやカップラーメンを買いました。久しぶりの日本食に幸せを感じながら食べました。テレビも、となりにいた友達と、「日本語だぁー！」と感動しながら見ました。9日ぶりの日本に嬉しさいっぱいでした。

帰宅の日。朝から和食盛りだくさんのご飯をいっぱい食べて福岡空港に行きました。天草エアラインに乗って天草を目指しました。本度市内がみえてくると、やっと帰れる！という気持ちでいっぱいでした。空港に着くとたくさんの保護者の方々が飛行機の到着をまっています。なんだか嬉しくなり、前を見ることができませんでした。先生や両親、帰国を待っていてくれた人に挨拶をして解散しました。この後、たくさんのお話をみんなに聞かせました。

～研修を終えて～

今回の研修を終えてまず思ったことは、人生のなかでも大きな存在となるこんなに良い経験をさせていただいて本当に感謝しています、ということです。目的であった、アメリカのいろんなところを見てみたい、たくさんの人と関わりたい、ということをしきりと達成することができました。アメリカについてびっくりしたことは、まず路上駐車がとても多い事でした。片道日本の道路の2～3倍くらいあり、すごいなぁと思いました。

また、道のでこぼこが激しかったことです。これはまちのつくりについてですが、やっぱり一番は食べ物、飲み物、すべてにおいての大きさが大きいということです。ピザは日本の5倍くらいあり、水いっぱい日本のは4倍くらいありました。こんなものどうしてみんな食べることができるのだろうかと思いました。まだまだ驚いたことはたくさんありました。きっと私達とは違う、もっと広い世界をみんな見ているんだろうなと思いました。

また、私は日本の文化もきちんと伝える事が出来ました。私は剣道をしています。なのでせっかくだから、ということでホストファミリーのみなさんに剣道を説明させていただきました。ちょうど出発前日が県中体連だったのもありますがしっかりと伝えることができよかったです！もっともっと日本の良いところを知ってもらいたいので今度訪問させていただくときは私自身も日本のことを勉強し、よりたくさん伝えることができるといいと思います。

たくさんのお外国の人と言葉を交わし、国境を越えて繋がる、ということは本当にいいことだと思います。今回のホストファミリーの中には去年来日し、一緒に剣道をさせていただいた方もおられました。その方たちは私のことをきちんと覚えていて下さり、そのときの事を話してくださいました。それを聞いた時、私は

とても嬉しくなりました。こうやって他国との交流を続けていければいいな、と思っています。

今回、アメリカの方々にお世話になりました。だから次は私達がなにかをする番です。来年、アメリカから派遣生がやってくることでしょう。私は今回のお礼を返すつもりでこの事業に進んで参加をしたいと思っています。私はこの経験を絶対に忘れません。優しく接してくれ、いっぱいお世話になったホストファミリーの方々への感謝を忘れず、もっともっと英語を勉強し、いつかまた会いにいけたらいいなと思っています。



『 ホームステイを終えて学んだこと 』

御所浦中学校 2年 中村 七海



私は、夏休みの10日間、アメリカ合衆国のカリフォルニア州にあるエンシニタス市に行ってきました。

天草市とエンシニタス市は姉妹都市を結んでおり、毎年中学生の派遣事業を通して交流を行っています。

私は、この研修に応募するに当たって目的がありました。それは、英語が好きです。得意でもあり、以前、英語暗唱大会にも出場しました。その際、発音でつけられた点数が6点という結果でとても悔しい思いをしました。そこから自分なりにCD等を使いながら必死に練習をしました。

今回の研修では自分の英語がどれだけ通用するか確かめたいと思いました。また、以前先輩がこの姉妹都市交流事業に参加されたときの講話を聞いて、「英語の勉強」という堅いイメージから、楽しんで英語を学べる。そして、分からなくても今後の生活にも活かせるということで行きたいと思うようになりました。これをきっかけに海外の文化に興味を持つようになり、この姉妹都市交流事業に参加したいと思いました。

そこで、私は、今回の研修で分からないことがあっても積極的に何事にも挑戦すると決めていました。「せっかくいただいたチャンスを無駄にしたくない。」「英語力を試したい。」と思ったからです。

私がアメリカに行ってまず思ったことは、気候の違いです。空気が乾燥しており、夏なのに寒く感じたことです。日本と気温はあまり変わらないそうですが、湿度が低いために体感温度が違うということで、過ごしやすかったです。また、エンシニタスのビーチで見た水平線や夕日はとてもきれいでした。特に水平線は、天草で見ることではなく、初めて見た景色だったので、とても感動しました。そして、ハンバーガーなどの食べ物がとにかく大きいことやお菓子の甘さに驚きました。日本では、基本的に健康面を考え、それほど甘くなく小さいサイズが普通です。ここで日本との食文化の違いを感じました。

私が今回アメリカにいった大きな目的はホームステイです。私は同じ天草市の中学生と二人でホームステイをしました。私のホームステイ先はとても大きな家で、お風呂が五つもあったので日本では信じられないことだと思いました。ホームステイを受け入れて頂く家族をホストファミリーといいます。私のホストファミリーは言葉が通じなくてもいつも笑顔でとても優しく温かく接してくれ、エンシニタスへ行く前に持っていた不安や緊張感はすぐになりました。

正直言って英語は早く、分からない単語もたくさんあったので、聞き取ることが難しく内容が理解できない場面がたくさんありました。相手が何と言っているのか分からず、とりあえず「Yes」と答えたら笑われたこともありました。けれど、二人で自分たちの知っている単語を集めて必死に訳したり、答える際も何と言っているのか分からないときはジェスチャーを使って表現したり、絵を描いて説明したりと、伝えることに必死でした。しかし、伝わったときはうれしい気持ちでいっぱいでした。

分からない単語や文法はたくさんありましたが、自分が知っている単語をうまく使ったり、ジェスチャーを使ったりと、自分ができる事を一生懸命することで、相手とのコミュニケーションが成り立つことを実感しました。このことから、その人にどうにか伝えようという意欲の大切さと、何事もチャレンジすることで成功につながるということを学びました。

研修の中では市内観光もありました。市内観光では、ホストファミリーや現地の高校生と行動し、色々な活動を共にしました。

中でも一番心に残っている活動は、事前に調べていたサーフィンや乗馬をしたことです。サーフィンや乗馬は、エンシニタスでも特に有名な観光スポットとして多くの観光客が訪れているそうです。エンシニタスは太平洋の西海岸に面しています。そのためサーフィンは波が強くあまり上手に乗れませんでした。しかし、インストラクターの方が優しく丁寧に教えて下さったのでとても楽しい時間を過ごせました。

乗馬では、以前一度乗ったことはありましたがその時とは違いとても大きな馬でした。それに加え、馬を動かすこともでき、少し怖く緊張もしましたが楽しかったです。その時、天草にエンシニタスの方が来たら、エンシニタスでは体験できないことを紹介したいと思いました。

サンディエゴという大きな街へも行きました。そこでは、大リーグ観戦をしました。私が観戦した試合は、サンディエゴ対ロジャースのパドレス野球試合です。試合はとても盛り上がり、元々あまり興味は無かったのですが周りのテンションに流され一緒に楽しめました。また、売店のポップコーンが大きいことに驚きました。なんと、五歳ぐらいの子どもと同じぐらいの大きさでした。日本で

は信じられないことと思いました。

そして、アメリカの小学校と高校へも行きました。日本の学校は二階や三階建てが一般的です。しかし、アメリカの学校は敷地が広く全て一階建てでした。小学校では、今アメリカで問題となっている高カロリーな食生活を見直そうと、野菜を作る活動をしていました。敷地内に畑がありカボチャ等いくつかの野菜を育てて昼食を自分たちで調理し、食べるそうです。その中で、お菓子を食べていた小学生に英語で質問するなど少し会話もできたので「伝わった」と実感し、とてもうれしかったです。高校では、私のイメージの中だと制服を着て化粧をしておしゃれをしている感じに思っていました。しかし、短パンにノースリーブ等すごくラフな格好で、日本とは違うと思いました。

部活動の見学では、演劇部を見ました。劇の練習や衣装部屋、化粧室を見ました。建物には絵が描いてあり明るかったです。そして、公園のように芝生が広がっており、「ここは建物の中だよな？」と少し不思議な感じがしました。

また、一番有名なハリウッドとユニバーサルスタジオへも行きました。ハリウッドでは、テレビで見る光景ばかりでした。ジョニー・デップの手形やアカデミーショーが行われる会場、ハリウッドと書かれた看板を初めて目にし、とても興奮しました。しかし、チップを要求されて少し怖かったです。

ユニバーサルスタジオでは、ジェットコースターに乗ったり、お化け屋敷に入ったりしました。行きたい場所が分からない時は、今まで習った英語で質問をしました。とてもフレンドリーに接してくれました。楽しかったです。

ホームステイ最終日には、オーシャンサイドという所へ行き、ホストファミリーとボートに乗りました。十六歳のホストブラザーが運転しました。太平洋に写る水平線の美しさに改めて感動しました。また、野生のアザラシを見ることができました。アザラシを見ること自体が初めてだったので感動しました。アザラシを見た感動といままでお世話になったホストファミリーに対する感謝の気持ちで胸がいっぱいになりました。

今回の研修を通して、言葉が通じなくてもジェスチャー等で積極的に伝えようとする意欲が大切ということ学びました。また、アメリカの良さを感じると共に日本を離れないと分からない良さも感じる事ができました。しかし、英語がなかなか通じませんでした。だから、これからは、「ALTの先生と一日一回は会話をする」などという具体的な目標を立て、もっと勉強していきたいです。そして、日本の良さを英語で伝えられるようになりたいです。

来年は、エンシニタスからのホームステイを受け入れる予定です。ホームステイに来る人たちともスムーズに話せるようにしたいです。

今年の思いを忘れずに一生懸命勉強します。そして、今年度の英語暗唱大会、

今後の国際交流の場などこれからの中学校生活に活かしていきたいと思います。

また、再びエンシニタスを訪れ、ホストファミリーなどお世話になったエンシニタスの方々に英語で感謝の気持ちを伝えたいです。



『 ENCINITAS 最高の思い出 』

新和中学校 二年 山下 裕渉



今回の天草市姉妹都市交流事業に参加して、とてもたくさんの経験をすることができました。交流事業に参加した、一番大きな理由は英語が大好きで将来中学校の英語教師になりたいからです。そして、この交流事業で自分の世界観が変わり、将来の夢に一步近づくことができたと思います。

【7月29日(初日)】

研修生6人と引率者1人を乗せた飛行機がいよいよ福岡に向けて出発しました。今回は、男子1人ということで最初は誰とも喋ることができませんでした。でも、福岡空港の国際線で飛行機に乗るころには打ち解けることができました。

ロサンゼルス空港に到着して最初は、全然アメリカに来た感じがしなかったけど、入国審査の時の審査官を見た瞬間一気に実感がわきました。なぜなら、自分よりすごく背が大きい人や黒人の人がたくさんいたからです。

そして、エンシニタス市に向かう途中「カールズ ジュニア」というハンバーガーショップに立ち寄り昼食をとりました。そこでは、一番小さいサイズのハンバーガーとジュースを頼むと日本のビックマックとLサイズのジュースでした。また、ジュースはカップだけをもらいあとは飲み放題だったので「さすがアメリカだな」と思いました。

いよいよエンシニタスに到着。すると、市役所の前にホストファミリーの方々が自分たちの名前が書かれたプラカードを持って待っていてくれました。それを見たらとても嬉しくなりました。その後、市長に天草から持ってきた親書を渡すと、逆に市長からリュックやタオルなどたくさんのお土産をもらいました。

僕のホストファミリーは Trotta(トラッタ)という家族でした。家族構成は、父 Tom(トム)、母 Joell(ジョエル)、長男 Isaac(アイザック)、長女 Grace(グレイス)、二男 Paul(ポール)でした。みんなとても優しく、英語がわからなくてもやさしく接してくれました。

そして、家に着いてホストファザーが「部屋を案内してあげる。」と言ったのでついていくと3階に連れて行かれました。その部屋にはトイレ・バスルームが付いていてとても豪華な家だなと思いました。

そして、夕食は屋上でバーベキューでした。チキンにバーベキューソースを塗って食べました。とてもおいしかったです。でも、ホストマザーが「More?」と聞かれてまだお腹一杯じゃなかったので「Yes」と答えたら最初に食べたチキンの2倍ぐらいの大きさのが出てきたのですぐお腹一杯になりました。

僕は、慣れない英語を一生懸命使い初日からしっかりコミュニケーションをとれたのでこれからも積極的に頑張っていこうと思いました。

【7月30日(二日目)】

今日の最初は、市役所の中を訪問しました。会議室や消防士ルームなどさまざまなお部屋を見ることができました。会議室では、実際に議長の席に座ることができ貴重な体験ができてよかったです。

その後は、サーフボードの店に行ったり、たくさんの植物があるガーデンを見に行ったり、変人像を見に行きました。昼食は、ピザを食べに行きマイクがピザを二つだけしか頼まなかったから、「10人以上もいるのに足りるのかな?」と思ったけど実際に出てきたピザを見ると50cmぐらいの大きさでとてもびっくりしました。でも、味は美味しかったです。

午後からは、乗馬体験をしました。馬に乗るのは初めてで、最初は緊張しましたが乗ってみるととても大きくて乗り心地が良かったです。乗ってからは、広場を自分でロープを引きながら歩いたりしました。

夜は、アメリカに来て絶対食べたかったステーキをまた屋上で焼いて食べました。想像はしていたけどその想像以上に大きくとてもびっくりしました。でも、2日間でアメリカの食文化に慣れこの日はホストファザーと食べ比べをしたりしました。でも、やっぱりアメリカ人には負けてしまいました。

【7月31日(三日目)】

朝から電車でサンディエゴへ行きました。電車は、毎日家の近くをすごい音を立てて通っていました。しかも、2階建てだったので帰りは2階に乗りました。電車の中ではとても面白い乗務員の人が出て楽しかったです。そして、サンディエゴに着くとサンディエゴはエンシニタスと違い高いビルなどがたくさん建っていました。その他には、ロシアのプライベート船や日本から送られた桜の木がありました。そして、野球の試合を見に行くと会場に入る前から自分たちの声が聞こえないくらい会場全体が盛り上がっているのが分かり日本では絶対ありえない

ことだなと思いました。試合の途中には、サンディエゴ パドレスのプレゼントボールをもらうことができ嬉しかったです。

この日の夜は、ポールの友達と一緒にビーチでバーベキューをしました。その後は、友達のお父さんが作った手作りのコートでビーチバレーをして遊びました。とても楽しかったです。

【8月1日(四日目)】

トーレパインという山にみんなで登りました。まず最初は、資料館に入りました。中にはたくさんの動物のはく製などがありとてもすごかったです。そして山に入るとあたり一面自然がそのまま残っていて海が見えてとても美しいところでした。

その後は、サプライズでガーデンに行きました。ガーデンには、とても大きな陸ガメがいてとても驚きました。でも、僕は次にあるサーフィンが楽しみでカメをしっかり観察することができませんでした。

そして、楽しみにしていたサーフィンをするためにビーチに行きました。サーフンは、エンシニタスに来る前からずっと楽しみにしていました。初めてのサーフィンだったのでちゃんと波に乗ることができるかわからなかったけど、やってみると意外と簡単に波に乗ることができサーフボードに立って乗ることもできました。そのあとも、何度か挑戦し最初はインストラクターの人に手伝って波に乗せてもらったけど後からは自分で波に乗ることができるようになりました。とても貴重な経験ができてとてもうれしかったです。サーフィンをした後は、ビーチでみんなと遊んだりしました。

夜は、アイザックの友達の家でバーベキューでした。手作りのチョコクッキーやブラウニーなどが準備してありました。それを食べてみると、とても甘くて美味しかったです。その後は、家の中に入りみんなで歌を歌ってくれました。意味はあんまりわからなかったけどとてもすごかったです。

【8月2日(五日目)】

午前中はみんなでアウトレットモールにショッピングに行きました。とても大きな店があり驚きました。アウトレットモールで僕は、converseとVANSでスニーカーを買いました。なかなか日本ではいいサイズが見つからないけど、アメリカでは自分のサイズが小さい方だったのでたくさんの中から選べて嬉しかったです。

午後からは、2つめに楽しみだったK1スピードレースに行きました。実際に乗ってみると日本とは全然違うスピード感に最初は恐かったけど後からは慣れて

とても楽しかったです！

ダブルピークパーク見学では、とても景色がいい所に行きました。そこからは、街全体が見えてとてもきれいな所でした。また、貯水タンクなども見えました。遠くの方まで見えていたので本当に街も空気もきれいな所だと思いました。

今日の夜は、ビーチで歓迎会を開いてもらいました。歓迎会ではホストファミリーの方々が全員集まりハンバーガーやホットドックを食べました。その後に、みんなでバレーをしていたら中山先生のホストファミリーの人が「天草の方向が記された看板がある」と言ったのでみんなで行って天草の方を見て写真を撮りました。そしてまた、バレーをやっているとホストファミリーの方々が僕たちを呼んだので行ってみると、キャンプファイヤーの煙でマシュマロを焼いたスモークをみんなで作りました。クラッカーにチョコとマシュマロを挟んで食べました。マシュマロをあまり食べたことがなかったけど、とてもおいしかったです。そのあとも、夜遅くまでみんなで雑談などしてとても楽しい1日でした。

【8月3日(六日目)】

今日は、ホームステイ最終日だったので午前中はホストファミリーと買い物に行きました。ホストマザーと一緒にキーホルダーなどを買い、ホストファザーとTシャツなどを買いました。

午後からは、ジャパニーズフェスティバルがありました。ジャパニーズフェスティバルには、アメリカに来てなかなか会わなかった日本人の方がたくさん来ていました。外国人の方も日本の浴衣を着ている人が多くてびっくりしました。また、日本から合唱団の方が来て日本の歌を歌ってくださいました。中には、「ふるさと」や「花は咲く」など知っている曲がたくさんありました。他にも、いなりずしや枝豆などがあり久しぶりに食べた日本食はとてもおいしかったです。

夕方には、お別れバーキュー会がありました。これが、最後のみんなと食べられる夕食と思うと別れるのがつらくなりましたが、最後まで全力で英語を使えるだけ使い話すことができとてもよかったです。この日は、マイクが次の日に誕生日を迎える研修生の人にサプライズでバースデーカードとケーキを用意してくれてみんなでお祝いしました。そのケーキを食べてみるとやっぱり甘かったです。最後かもしれないケーキだったのでしっかり味わって食べました。

家に帰ってからは、ホストファミリーと僕、お互いサプライズを用意していてホストファミリーからはポストカードとエンシニタスのTシャツをもらいました。僕は、手紙を日本の便せんに書いて渡しました。そしたら、ホストマザーから「何が一番おいしかった？」と聞かれ「ビーフステーキが一番好きだった」と言ってその日はお互い寝ることにしました。

【8月4日(最終日)】

この日は、朝からホストファザーに起こされて「こっちに来て」と言われたので行ってみたら、屋上でビーフステーキを焼いていました。そして、ホストマザーが「Special breakfast」と言ってビーフステーキとミッキーのワッフルを用意してくれました。朝から、ステーキはちょっときつかったですがお腹いっぱい食べました。

そして、いよいよ別れの時がやってきました。別れるときは、とてもつらかったですがホストファミリーに「必ず帰ってくる」と言ってさよならをしました。短いながらもいろんなところに連れて行ってくれたり、いろんなものを食べさせてくれたりとたくさんのことを経験させてもらったことを考えると涙がこぼれましたが、最後までお互い笑顔で別れることができました。そして、最後はやっぱりアメリカ風のあいさつ『ハグ』をみんながバスに乗った後、ホストファミリーの方々全員にして僕はバスに乗りました。

その後は、日本より大きいユニバーサルスタジオに行きロサンゼルスホテルで一泊し、来る時よりも長い空路で福岡まで帰ってきました。そして、福岡で一泊し無事に天草に帰ってきました。10日間という長いようで短かったホームステイは終わりました。

今回の交流事業を通して、一番感じたことはコミュニケーションの大切さです。言葉では最初は、英語が分からず会話も途切れ途切れでしたが、日が経つにつれてお互いの言いたいことを必死に聞こうとしたりして、会話も弾むようになりました。行動では、日本ではあまりやらないハグを当たり前に行っていることです。アメリカではあいさつなど日常的に使っているそうですが僕は最初は、自分ではする気になりませんでした。でも最後の日には自分から進んでホストファミリーの方々とはグをすることができました。

今回のホームステイでみつけた課題は、「これから英語をたくさん勉強すること」です。最初は、なかなか英語を喋ることができませんでした。相手も僕が分からないときは、わかりやすい英語に訳してくれたりそれでもわからないときはジェスチャーなどで教えてくれたりととても親切にしてくれました。おかげで、僕もわかる英語で必死に話そうとすると相手も必死に聞いてくれたのでそれからは積極的に話すようになりました。そうして話しているとだんだん相手の言っていることが分かってくるようになりました。最初のうちは、とても早口に聞こえた言葉が慣れてくるとすぐに理解できるようになりました。

これからは、エンシニタスに行き見て、聞いて、食べて、肌で感じたことを自分の同級生や近所の方、天草市民の方などに伝えていけるように頑張りたいです。

そして、この経験を活かして将来の夢に向かって頑張っていきたいと思います。
また、エンシニタスにもう一度行って恩返しをしたいと思います。

